

【学習の目標と学習方法】

- ・自然の事物・現象に進んでかかわる態度を育てる。
- ・目的意識を持って観察や実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎を育てる。
- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

<b>授業について・生徒のみなさんに</b> * 授業開始前には、持物をそろえ、集中できるよう心の準備をしましょう。 * 授業は教科書を中心に進めま す。資料集(理科便覧)なども参考 資料として使いましょう。 * 実験や観察を通して、自然の法 則性などを見出していきます。 * 自ら考えて答えを導き出す過程 を大切にしましょう。 * 意見を出し合うことで、ともに理 解を深めることができます。考えや 疑問を積極的に発信しましょう。 * 疑問に思った箇所は、その日の うちに質問などして解決しましょう。 (休憩時間や放課後の質問、大歓迎です。)	<b>家庭学習について</b> * 宿題は必ずやりましょう。 * その日の授業で使用したノート、プリ ントの見返しをしましょう。わからなかつ た点を解決し、さらに知りたいことなど を調べてみましょう。見返してもわから ない内容は、先生に質問してください。 * ワークを使用し、授業で学習した箇 所の問題を解いて、復習をしましょう。 <b>・試験前はこのように取り組もう</b> * 実験や観察で、どのような手順で実 験を行い、どんな結果が出て、どのよう に考察できたかをまとめましょう。 * 教科書やノートを使って、語句や法 則を復習しましょう。 * ワーク等をもう一度解いてみましょ う。特に、1回目に間違えた箇所は見 直しをしましょう。	関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象について の知識・理解
		評価観点	自然の事物・現象 に進んでかかわり、 それらを科学的に 探究するとともに、 事象を人間生活と のかかわりで見よう としている。	自然の事物・現象 の中に問題を見出 し、目的意識を持っ て観察・実験などを 行い、事象や結果 を分析して解釈し、 表現できる。	観察、実験を行い、基 本操作を習得するとと もに、それらの過程や 結果を的確に記録、 整理し、自然の事物・ 現象を科学的に探究 する技能の基礎を身 に付けることができ る。
		評価資料	・授業での様子 ・実験や観察におけ る活動状況 ・ノートの記載内容 ・課題の提出状況と その内容 ・自己評価や相互 評価 など	・実験、観察におけ る考察 ・授業での発言内容 ・レポートの内容・表 現 ・各テストの思考・ 表現に関する設問 への答案内容 など	・実験への取り組み 姿勢 ・実験の基本的な操 作の習得 ・実験報告、観察記 録 ・各テストの技能に 関する設問への答 案内容 など

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計105時間
	1、植物の世界(28) 花のつくりとはたらき 葉、茎、根のつくりとはたらき 植物の分類			2、身のまわりの物質(26) 身の回りの物質とその性質 気体の性質・水溶液の性質 物質の姿と状態変化			3、身のまわりの現象(28) 光の世界 音の世界 力の世界			4、大地の変化(23) 火をふく大地 動き続ける大地 地層から読み取る大地の変化			
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計140時間
	2、動物の生活と生物の進化(39) 生物と細胞・動物のからだのつくりとはたらき・動物の分類・生物の変遷と進化						3、電流とその利用 (31) 静電気と電流・電流の性質・電流と磁界						
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計140時間
	1、化学変化と原子・分子(40) 物質のなり立ち・物質どうしの化学変化・酸素が関わる化学変化・ 化学変化と物質の質量・化学変化とその利用			2、生命の連続性(22) 生物の成長と生殖・遺伝の規則性 と遺伝子			3、運動とエネルギー(30) 物体のいろいろな運動・ 力の規則性・エネルギー と仕事		4、地球と宇宙(26) 宇宙の広がり・地球の 運動と天体の動き・月 と惑星の見え方		5、地球と私たちの未来のために(26) 自然の中の生物・自然環境の調査 と保全・自然の恵みと災害・科学技 術と人間・持続可能な社会をつくる ために		